

1. 科目名（単位 数）	国語科指導法（書写を含む）（2 単位）	3. 科目番号	EDEL2311 SJMP2391 JCEL2412
2. 授業担当教員	川原田 一郎		
4. 授業形態	講義 演習 グループ討議 発表 実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	国語科は全教科の基礎基本であり、中心的教科である。そのため、人間形成や社会力及び創造力の基礎となる国語科の指導者として必須の知識への理解と実践力の基礎を育てるのがねらいである。そこで本講義では、学習指導要領に示された〔思考力,判断力,表現力等〕の内容である「A 話すこと・聞くこと」領域、「B 書くこと」領域、「C 読むこと」領域に基づき、各学年に応じた目標、内容及び指導法についての理解と実践力を育てるようにする。 特に、指導法に関しては単なる理解ではなく、発表や討論、模擬授業等を通して指導技術の習得を図る。また、教材や学習活動の開発創造を大切にする意欲的態度を育てる。		
8. 学習目標	1.小学校学習指導要領国語について概観し、目標や内容について説明できるようになる。 2.各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになる。 3.小学校の具体的な国語教材を基に、教材研究、指導案作成、模擬授業などを行い、小学校国語科の学習指導の実際を体験的に身に付ける。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	1 アサシメント 適宜指示する。（筆ペンを用意しておく。） 2 レポート課題 （1）「B 書くこと」に関する学習指導案 （2）「C 読むこと」に関する学習指導案 3 その他の課題 （1）書写の作品 課題は締め切りを守って提出する。遅れは減点対象。		
10. 教科書・参考 書・教材	文部科学省『小学校学習指導要領解説国語編』東洋館出版 2018 年		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1.小学校国語科の目標や内容について説明できるようになったか。 2.各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになったか。 3.小学校国語科の学習指導を行う上で必要な教材研究、指導案作成、授業実践等の知識・技能を体験的に身に付けることができたか。 ○評定の方法 授業態度 5 0 % 模擬授業等 3 0 % 期末試験 2 0 % 上記のほか、本学の規定に定められている 3 / 4 以上の出席が単位の条件である。		
12. 受講生への メッセージ	児童に言語の力を育成するためには、言語環境の整備が重要です。児童にとって、教師は最大の言語環境ですから、教師や保育士を目指す皆さん自身が言語能力に磨きをかけねばなりません。そのための授業です。目の前にいる児童に、信頼され信望を集める指導者になるという自覚をもって、授業に臨んでください。授業は実際の国語の授業を想定するとともに、模擬授業形式で言語活動を展開する中で、話す・聞く力、書く力、読む力を向上させます。また、グループワークを通して、社会から初任者／新規採用者に求められている、豊かな人間関係を醸成できるコミュニケーション能力も身に付けていきます。国語好きな児童を育成できる力を身に付けていきましょう。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション ・小学校国語科の目指すもの ・小学校国語科の内容と骨組み ・初等教育指導者に望まれること	事前学習	国語科教育の課題について、自分の考えをまとめておく。
		事後学習	シラバスを読み、授業の概要をつかみ見通しを持つ。
第 2 回	「B 書くこと」の理論と授業の実際（1） ・学習指導要領「B 書くこと」の分析	事前学習	小学校学習指導要領「B 書くこと」について概観しておく。
		事後学習	「書くこと」の授業の在り方についてまとめ、整理する。
第 3 回	「B 書くこと」の理論と授業の実際（2） ・「B 書くこと」国語科学習指導案の書き方	事前学習	学習指導案作成に関する教材研究を十分にしておく。
		事後学習	国語科学習指導案の書き方、学習内容、学習活動、留意事項等をまとめる。
第 4 回	「B 書くこと」の理論と授業の実際（3） ・「B 書くこと」国語科学習指導案作成	事前学習	学習指導案作成に関する教材研究を十分にし、学習指導案を事前作成しておく。
		事後学習	授業内容を活かし「書くこと」の教材文の学習指導案を改善する。
第 5 回	「B 書くこと」の理論と授業の実際（4） ・「B 書くこと」国語科学習指導案作成	事前学習	学習指導案作成に関する教材研究を十分にし、学習指導案を充実したものにしておく。
		事後学習	「書くこと」の教材文の国語科学習指導案を完成させる。
第 6 回	「B 書くこと」の理論と授業の実際（5） ・「B 書くこと」の国語科学習の授業改善について の話し合い	事前学習	授業が展開できるように発問・指示・板書等の準備を十分にしておく。
		事後学習	授業を振り返り、改善点などを整理し、次に生かす

			るようにする。
第 7 回	「C読むこと」の理論と授業の実際（1） ・学習指導要領「C読むこと」の分析	事前学習	小学校学習指導要領「C読むこと」について概観しておく。
		事後学習	「読むこと」の授業の在り方についてまとめ、整理する。
第 8 回	「C読むこと」の理論と授業の実際（2） ・「C読むこと」国語科学習指導案の書き方	事前学習	学習指導案作成に関する教材研究を十分にしておく。
		事後学習	国語科学習指導案の書き方、学習内容、学習活動、留意事項等をまとめる。
第 9 回	「C読むこと」の理論と授業の実際（3） ・「C読むこと」国語科学習指導案作成 ・説明的な文章を読む指導の実際	事前学習	学習指導案作成に関する教材研究を十分にし、学習指導案を事前作成しておく。
		事後学習	「読むこと」の教材文の国語科学習指導案を改善する。
第 10 回	「C読むこと」の理論と授業の実際（4） ・「C読むこと」国語科学習指導案作成・授業準備	事前学習	学習指導案作成に関する教材研究を十分にし、学習指導案を充実したものにしておく。
		事後学習	「読むこと」の教材文の国語科学習指導案を完成させる。
第 11 回	「C読むこと」の理論と授業の実際（5） ・「C読むこと」国語科学習指導案をもとにした模擬授業	事前学習	模擬授業が展開できるように、発問・指示・板書等の準備を十分にしておく。
		事後学習	自分や友人の模擬授業を振り返り、改善点などを整理する。
第 12 回	「C読むこと」の理論と授業の実際（6） ・「C読むこと」国語科学習指導案をもとにした模擬授業	事前学習	模擬授業が展開できるように、発問・指示・板書等の準備を十分にしておく。
		事後学習	自分や友人の模擬授業を振り返り、改善点などを整理する。
第 13 回	6 学年を通じた系統的な指導の実際 ・話すこと・聞くことと指導と P C など情報機器の活用方法と教材作成	事前学習	小学校学習指導要領「A話すこと・聞くこと」について概観しておく。
		事後学習	「A話すこと・聞くこと」の国語科学習指導案の書き方と情報機器についてまとめておく。
第 14 回	書写に関する授業の理論と実際 ・書写に関する実技と書写作品の制作	事前学習	小学校学習指導要領「書写に関する事項」について概観しておく。
		事後学習	「書写」の国語科学習指導案の書き方についてまとめておく。
第 15 回	学習指導要領が目指す国語教育・総括・これまでのまとめ ・期末試験（確認テスト）	事前学習	これまでの授業の単元ノート、国語科学習指導案を整理し、まとめておく。
		事後学習	自己評価し、これからの自らの言語技術の向上に取り組む。